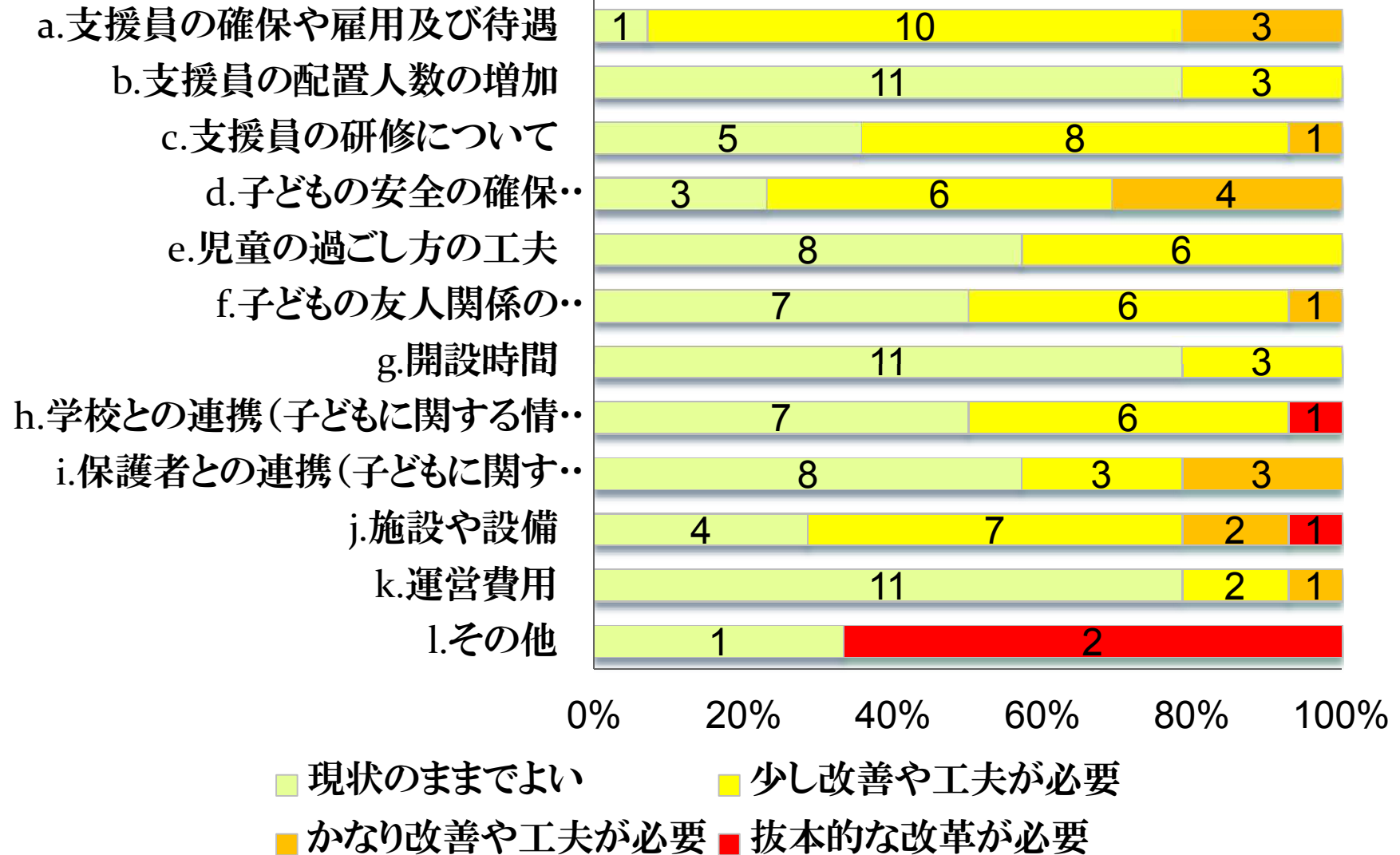


地域放課後児童クラブの 運営に関するアンケート調査報告書 (児童クラブ)

概要版

平成29年1月
舞鶴市子ども支援課

問1-1. 運営上の課題や活動における工夫が必要と感じる事項について



問1-2.具体的な改善点や工夫点

a.支援員の確保や雇用及び待遇について

【報酬に関すること】（7）

- ・子どもを預かり、命を守る仕事であるので、報酬の見直しを求める
- ・経験支援員と夏季休暇等での臨時支援員とで時間給が同じことに不満の声があり、経験年数や資格を重要視してほしい。

【手当について】（5）

- ・通勤手当（交通費）について援助をしてもらいたい。
- ・支援員の主任や責任者にも手当がほしい。（役職手当）

【支援員確保について】（3）

- ・長期開設時期の臨時支援員の確保について苦慮している。
- ・若年層を雇用したいが難しい。掛け持ちではなく、安心して働けるよう福利厚生充実を望む。

問1-2.具体的な改善点や工夫点

b.支援員の配置人数の増加について

- ・年度当初に支援学級に在籍している子には加配を十分に検討してほしい。

c.支援員の研修について

- ・単発研修ではなく、系統立てた年間計画を立てて実施してほしい。
- ・マンネリ化を防ぐためにも、研修の機会をもっと多くしてほしい。
- ・支援員の意見交換を主とした研修を望む。
- ・自主参加の研修の紹介や、新人研修を望む。

d.子どもの安全の確保(災害時・事故発生時)

- ・学校との連携をさらに図り、避難場所統一や事故発生時の協力体制等の確認
- ・防災訓練等のやり方が分からず、消防署や市の担当課の協力をお願いしたい
- ・万が一の災害等に備えて、マニュアル等が必要

問1-2.具体的な改善点や工夫点

e.児童クラブにおける児童の過ごし方の工夫

- ・時には地域の人に昔話や剣玉等、招いて運営したい。
- ・遊びや宿題、おやつ等の時間配分等、子どもたちにとって、どの方法がいいのか、もう一度考えたい。

f.子どもの友人関係の構築への支援

- ・子どもひとりひとりの個性を把握し、理解したうえで適切な関わりができるよう支援員同士の連携や共有化が必要
- ・学校生活の延長が基準になっているため、支援が難しい。

g.開設時間

- ・学校休業時の開設時間を早く。
- ・夏休み等になると8時前に来たり、18時半を過ぎたりするので、状況に応じて延長が必要かもしれない。

問1-2.具体的な改善点や工夫点

h.学校との連携

- ・居残り勉強がある等は教えてえるが、学校を休んでいる、学校でケンカをした等の情報が入りにくく、もっとオープンに情報共有したい。
- ・子どもに関する情報は定期的に会議を持ち共有できればありがたい。
- ・学校側の児童クラブに対する理解の違いにより、情報共有や施設利用に差異がある。

i.保護者との連携

- ・毎日の送迎時や連絡帳等を基本としているがコミュニケーションの意識がない保護者もいる。

j.施設や設備

- ・児童の調子が悪くなった時など、安静にできる場所があれば助かる。
- ・児童クラブだけの設備でないため、学校との調整が必要であり、不便を感じる。

問1-2.具体的な改善点や工夫点

k.運営費用

- ・ 4月1日付の人数だと夏休みに児童が増えた時に事務費が少なく困る。
- ・ 事務費の用途について迷う時がある、再度教えてほしい。

l.その他

- ・ 大雨、吹雪、ゲリラ豪雨等の際に、玄関（外側出入口）から雨等が中まで入り込み、困っている。

問2. 子ども、保護者、学校との対応等で難しいと感じる点

①子どもに関すること

項目	回答数
a.粗暴な子どもへの対応	7
b.障がいがある子どもへの対応	7
c.協調性の欠ける子どもへの対応	7
d.子ども同士のケンカへの対応	8
e.その他	1

a.粗暴な子どもへの対応

- ・予測できない乱暴な行動
- ・目が離せない
- ・注意しても聞かず、上級生の言動が下級生に大きく影響している場合もある。

b.障がいがある子どもへの対応

- ・専門的な学習をしていないので、これでいいのか？と悩む時がある。
- ・受入当初の保護者や学校との十分な話し合いが必要。

c.協調性の欠ける子どもへの対応

- ・思い通りにならないと泣き叫ぶ。支援員の意図する事柄が理解できない。
- ・自己主張が強く、自分の意見を絶対に曲げない。

d.子ども同士のケンカへの対応

- ・思った通りに指導して、保護者へ報告するが、本当に分かって頂いているか疑問
- ・状況により、支援員複数で対応し、落ち着くまで他児童が巻き込まれないように。

e.その他

- ・支援員は宿題を教えることはしていないが、放置することもできず...

問2. 子ども、保護者、学校との対応等で難しいと感じる点

②保護者に関すること

項目	回答数
a.送迎等の時間が遅い保護者	7
b.子どもの準備物等、反応が遅い保護者	5
c.クレームが多い保護者	3
d.利用料金の滞納や未納者	2
e.その他	0

a.送迎等の時間が遅い保護者

- 仕事の関係とは言え、度々重なると対応に困る。

c.クレームが多い保護者

- 考えの違う保護者の話をきちんと聞く。
- 子ども第一の考えのもと、支援員間でブレない対応をする。

b.子どもの準備物等、反応が遅い保護者

- 補充ができていない児童にはクラブから貸し出しているが、返却が遅かったり紛失していたりする。

d.利用料金の滞納や未納者

- 子どもの前では言いにくい時もある。
- 遅れる人には言いにくいと思うが、連絡がほしい。
- 数人の遅れがちな人には何度も催促するようにしている。

問2. 子ども、保護者、学校との対応等で難しいと感じる点

③学校に関すること

項目	回答数
a.在籍児童の情報交換について	6
b.体育館等の施設使用について	5
c.学校行事に関することについて	3
d.その他	1

a.在籍児童の情報交換について

- 学校での様子を知りたいので、年に1回でも良いので情報交換する場がほしい。
- こちらから複数回話すことで口を開いていただく事もある。

b.体育館等の施設使用について

- 雨の日等に体育館等の使用をしようと思っても空いていない事が多い。
(曜日時間指定)

c.学校行事に関することについて

- 学校や支援委員会よりお知らせ頂き、都合に合わせて出席している。
- 支援員全員がもう少し協力的に対応が必要

d.その他

- 臨時休校時、入・退会など事務手続き

問3. 小学校との連携として 実施している事項について

項目	回答数
a.放課後児童クラブ在籍児童の氏名、人数等の連絡	14
b.年間スケジュール、発行物等の情報交換	13
c.放課後児童クラブ在籍児童の学習・生活状況等の情報共有	10
d.運営委員会等への小学校教諭等の就任	5
e.放課後児童クラブ支援員と小学校教諭の定期的な会議や打合せ	5
f.放課後児童クラブ在籍児童の家庭や保護者対応の共通化	10
g.定期的な交流事業の実施	3
h.その他	4
i.特に行っていない	2

問4. これまでの運営の中で実施した取組

項目	回答数
a.地域の方々やその他団体等の協力による教室等の定期的開催 (スポーツ・工作・英語・絵手紙・手芸・絵画・音楽等)	9
b.宿題や勉強のサポート	9
c.幼稚園・保育所等との交流(遊びやレクリエーション)	0
d.地域の方々との交流(昔遊び行事、季節行事等)	7
e.中高生等との異年齢交流	1
f.施設外での活動(社会見学、自然観察等)	6
g.食育に関すること	3
h.動植物の飼育や栽培	5
i.行ったことはない	3
j.その他	5

【その他】

- ・土曜日等、人数が少ない時に図書館へ(本読み、読み聞かせ)
- ・老人保健施設への訪問交流、川遊び、交通安全教室等
- ・季節ごとのお楽しみ会(夏季の屋外活動)

問5. 今後、新たに検討したい取組

【中高生等との異年齢交流】（3クラブ）

- ・児童クラブを巣立った児童と在籍児童の交流会をしてみたい。
- ・子どもたちと年齢が近い子たちの交流⇒子どもたちは喜ぶと思う。

【昔の遊び行事】（1クラブ）

- ・地域の有志の方を招いて、教えてもらう。（祖父母参観の後とか）

【地域の方・老人会等との交流】（1クラブ）

- ・昔の遊び、技、芸をゆっくり伝承してほしい。
大人とのふれあいにより言葉遣い、人の思いやりを知ってほしい。

【施設外活動】（1クラブ）

- ・過去に何度かバスを借りて外出しているが、費用がかさむため、なかなか思うように実施できない。

問6. 児童クラブの運営や活動で、 嬉しかったことや良かったこと

- クラブを辞めた後も(中学生、高校生)顔を出してくれて、クラブ児童とも遊んでくれたり、出会った時等も声をかけてくれる事。
- 「子どもが喜んで児童クラブに行ってくれるので、親は安心して仕事に行ける」と保護者の方々が言うてくださること。
- たくさんの子供達と交流できること。その子達がクラブを卒業した後も会うと声をかけ合ったりと繋がりがあることが嬉しい。また、自身の子育てに於いても視野が拡がり、不必要に叱ることが少なくなった。
- 日々の活動での、子どもの笑顔
- 子供たちの成長を間近に見られること。
- フジバカマの育成に夏休み中水やりをして、児童が表彰されたこと。クラブ卒業の児童が中学生になり二人で夏休みに遊びに来てくれたこと。保護者から支援員にお礼の手紙を貰ったこと。3年生が下級生をまとめてくれたこと。
- 今まで事故もなく活動できていること
- 手話を習っていたので、難聴の保護者と手話をまじえて話ができ良かった。
- 卒業生からのお礼の手紙、日常的に声かけをしてくれる

問7. 児童クラブの運営や活動で、 残念だったことや悪かったこと

- いつも子供たちの動きをみているのですが、自分の近くにおいて、ふとしたことで、こけたり、頭を打ったりして病院に行くようなことになった時には、申し訳ないと思います。
- 支援員間の情報の共有化がむずかしい。
- 支援員の発言で、保護者に本意が伝えられず誤解されたこと。
- 電車ごっこ等、団体遊びを行った時、子どもの身体に痣が付いたと苦情があり、
謝りに行った時、父兄の対応が難しいものであった。
- 支援員の皆様の意思統一が取れない事が有る事(まとまらないといけない場合)
- 子供同士でケンカになったり、仲間はずれになったりすること
- 自分自身の認識(知識)不足や至らなさのため、子供同士のトラブルの際、最善の対応ができなかったことなど。
- 互いの報告・連絡・相談に工夫、努力しているが個人差が生じる
- 支援員同士の横のつながりをもっと密にし、皆で協力して花壇を作ったり、清掃したり、そういういい方向のつながりがあればいいのに、と思う。

問8. 自身の児童クラブの誇れるところ

- 支援員全員が児童1人1人の様子、性格を把握している。
- 入会当初にはクラブに馴染めなかった子も、すぐに慣れて「クラブは楽しい」と言ってくれたり、学年が大きくなって退会した子ども達が帰り際クラブに顔を見せに来てくれること。
- 学校や家庭では体験することが少なくなっている遊び(工作、折紙、編み物、等々)を体験でき、保護者からも喜ばれている。
- 常に支援員全体の意見交換で、運営内容が決定されている。
- 池内児童クラブは、老人ホーム内の為、お年寄りとの出会いがよくあるが、時間経過と共に、お年寄りにやさしい心が芽生える。又、挨拶もていねいに出来るようになる。
- 夏休み中、外部からのボランティアさんに週2回位入っていただき、子どもたちは、色々な体験活動を楽しんでいる。又、支援員も日々交替で工作活動の指導に当たっている。
- 支援員が様々な異業種経験者で構成されている。
- 支援員全員が、子どもたちが健やかに成長してくれることを願い、日々接している。

問9. その他、 放課後児童クラブに関する意見

- 児童にとって、教育委員会、子ども支援課といった組織は関係なく、同じ方向に向かえる組織のもとで、のびのびとしたクラブであってほしい。
- 時代のニーズにより、大切な活動だと思しますので、内容の充実を目指して努力しますが、ご支援をよろしく申し上げます。
- 行政担当者がクラブを定期的に訪問し、支援員と直接意見交換できるように願います。
- 事務費は「何に使ったか」ではなく、「何に使えるか」を細かく知りたい
- 運営の中での取組は、保護者の意向を十分把握したうえでないと、良かれと思っても、すべて結果はよしとしない。
- 保護者の十分な理解と協力が無いと難しい。